

日本で培った ノウハウをアジアへ!!

グリーンハウスグループが、長年の歴史の中で積み重ねてきた「安全で安心なおいしい食事の提供」を中国全土での実現を目指し、2008年、北京のコントラクトフードサービス事業をはじめとして、2011年9月現在、4つの事業会社を中心に40店舗以上を展開しています。特に衛生管理体制は、日本と同様に、HACCPの概念に基づいた管理手法を導入し、たくさんの方々から高い評価を頂いています。

グリーンハウスフーズが展開する「とんかつ新宿さぼてん」は、志を同じくした現地企業とパートナーシップを結び、アジアを中心に約100店舗を展開しています。また、2010年には、うどん専門店「つるこし」も海外に進出、こだわりの日本の味を海外の皆さまにお届けしています。



調印式

さぼてん香港国際空港店



現地の嗜好に合わせて、日本にはないメニュー開発も行っています

天津事業所のメニュー



もちろん「安全で安心なおいしい日本食」も提供しています



広州
香港
台湾

さぼてんPARCO店



さぼてん台中崇徳店



台湾13号店は、138席を擁する初の2階建てとなる大型店舗

タイ

シンガポール

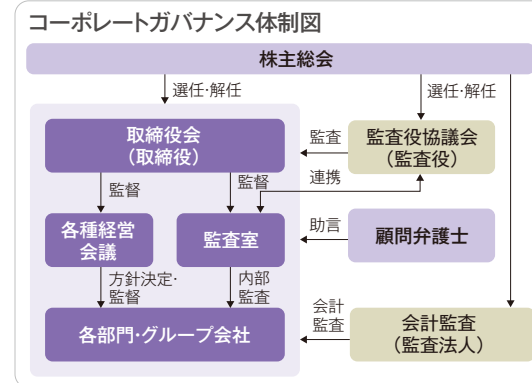
マネジメント

コーポレートガバナンス

当グループは、社是「人に喜ばれてこそ会社は発展する」の創業精神の下、お客様、社会から信頼される企業となるよう努めるとともに、継続的に企業価値を高めていくため、経営戦略に関する意思決定の迅速化と経営の効率性を高めること、透明性を確保することが重要であると認識し、コーポレートガバナンスの強化に努めています。

取締役会と監査役協議会

取締役会は、経営の透明性を確保するため月1回の定例取締役会を開催しているほか、必要に応じ随時開催することで、意思決定の迅速化を図っています。このほか、経営会議などを開催することで、経営上の課題について、さまざまな角度から十分に議論できる体制を取っています。監査役協議会は、社外



監査役2名を含む3名で構成されています。監査役は、取締役会に出席し、適宜意見を述べることで、取締役への牽制機能を果たしているとともに、そのほかの重要会議にも出席し、経営についてのモニタリングに携わっています。

コンプライアンス&リスクマネジメント

コンプライアンス推進体制

当グループでは、取締役会メンバーを中心に、毎月、リスク・コンプライアンス会議を開催しています。リスクマネジメント、コンプライアンス活動に関する情報交換、具体策の検討などを行い、これらの情報を各部門やグループ会社にフィードバックし、コンプライアンス体制を推進しています。教育ツールとして、企業憲章、行動規範が記載された「コンプライアンスハンドブック」を全従業員に配布し、健全な企業風土の醸成とともに、グループ全体へのコンプライアンス意識浸透に努めています。また、内部通報システムならびにヘルプラインとして「もしものホットライン」を設置しています。



グリーンハウス グループ行動規範
グループ企業憲章 ハンドブック

リスクマネジメント

「自然災害」、「食の安全・安心」をはじめとする、部門をまたがる全体的またはグループとしての対応を必要とするリスクについては、リスクコンプライアンス会議で情報交換、具体策の検討等を行っています。万一、リスクが顕在化し、事故あるいは災害等が発生した場合は、被害の拡大防止、事故等の収束に向けて、継続的かつ迅速な措置を実施します。また、緊急時に迅速な行動が取れるよう、「ポケット緊急時対応カード」を全従業員に配布しています。



グリーンハウス グループ行動規範



ポケット緊急時対応カード